



## 会員の窓

### ☆活動の輪を広げる SCE・Netに参加して☆

実業界や教育界での生活が一段落した化学工学会員の有志が集まって、自分達の技術を掘り起こし、経験を加味して、余裕のある時間で社会のために何かお役に立とうと、4年前に始めたのがSCE・Net（シニアケミカルエンジニアズ・ネットワーク）です。当初から便利で手間のかからないネットシステムを主体に相談を受け、個人の力量を中心に対応し、それなりの成果を上げてきました。しかし、顔の見えない者同士の活動では何となくもの足りないとの声も大きくなり、顔突き合わせての活動として、安全、環境、エネルギー、装置材料などのグループがつけられました。

その中で私に一つの生き甲斐を与えているエネルギー研究会は、特に活発で、7名のメンバーが自発的、積極的な活動をしています。月1回の会合にもほとんど欠席する者はなく、半年で新エネルギーから省エネルギーまで34もの自主的な研究テーマをこなし、その結果を各地の公共団体を相手に講演をしたり、エネルギー問題で何かお役に立たないかと働きかけもしています。その上、ベテランの怖い物知らずで、新エネルギーについての著作にも手がけています。しかし、その裏には涙ぐましい努力があり、企業にいたときは、家ではほとんど勉強などしたことがなかったのに、パソコンと悪戦苦闘しながら、机に向って日に何時間も過ごすようになり、家族にも感心されたり、昔これだけ勉強していればもう少しましなことができたのではないかと呆れられたりもしています。

グループとして集まると、各人の考えも理解され、忌憚無く協力し合うと、より広い知識、情報が得られ、刺激を受け、活発に討議・研究が行われ、成果も上がって行きます。そして研究会終了後に一杯入ると、種々の業種経験に基づく意見が飛び交い、論議は喧々諤々と夜遅くまで続き、良いアイデアも沢山出て来ます。中には夜の一杯を唯一の楽しみとして集まり、厳しい昼の会合に耐えている人もいますが、また、それなりの生き甲斐を見つけられます。

永年、組織中心に活動してきた人は、ネットシステムだ

けでは無味乾燥で何となく頼りなく、全員でも顔を見ながら集まろうということで、技術懇談会も発足しました。専門家の講演を聴いたり、法人会員や個人会員が順番に講師を務め、安全・環境・教育・コンサルタント・TLOから粉体・空調・物流・宇宙まで多岐にわたる経験談、技術問題などを話し合い、会も重ねて18回になりました。懇談会後の飲みニュケーションまで含めて会員相互の親睦にも役立ち、お互いの顔もはっきり見えてきて、活動も円滑に進むようになってきています。ベテランの貴重な話もありますので、企業で苦勞している方にも、何かと役に立つ、ヒントを掴める機会ともなるのではないかと思います。若い方、会員外の皆様の参加もお待ちしております。

会全体の活動としては、意欲的な会員がグループでこれに当り、NEDOからの業務受託、また化学工学会技術賞のテーマの内容を易しく解説した「進化する化学技術」の出版や新版の「化学工学辞典」の編集の一部を担当するなど、いろいろと勉強しながら進めています。いずれも納期に厳しい業務ですが、永年の訓練の賜物で、それほど苦も無くこなしています。また、4年も経つと、今までの在り方でよいのかという反省も起こり、内部の業務内容の改革や外部からの事業の開拓方法を考え直しています。会員の能力を再発掘し、活動をより活発にするためにグループを増やして、活動しやすい体制に整備しています。また、INCHEM TOKYOなどにも多くの会員が参加し広報に努め、会としての顔であるホームページ (<http://www.birenaji.com./SCE/>) を改良して皆様方の要望を受け入れやすくし、さらに活動の輪を広げていくことに努力し、実行に移しています。

企業にいる時には化学工学会は遠い堅苦しい存在でしたが、SCE・Netは気の置けない会合で、永く会員を続けていたことが、ここに来て報われたような気がします。

SCE・Netでは、組織の名も肩書きも意識せずに、フランクな付き合いができます。お互いに仕事のしがらみもなく、既存の業界、組織を横断した議論が自由にできます。過去の経験、技術も大切ですが、それに拘る人よりも、積極的に新しい技術、業務にも挑戦していく人の方が、より楽しい生活が過ごせるようです。積年のストレスからも解放され、前向きな刺激を受けた上に、研鑽にも励まなければならぬので、呆ける暇もありません。

組織を離れると化学工学会とも疎遠になりがちですが、今後は視点を変えて、新たな仲間との出会いがあり、社会との接点も繋げられるSCE・Netでも活動し、社会に貢献されては如何でしょうか。楽しい充実した生活を求める多数の皆様のお待ちしています。(連絡先：SCE・Net [chui.mizoguchi@nifty.com](mailto:chui.mizoguchi@nifty.com))

(弓削 耕)